



前立腺がんは 血液検査で早期発見が可能です

PSA 検査の普及により、
診断時にステージⅣの
前立腺がんは

15% 程度まで
減少しました。

前立腺がんは比較的小とな
しいとされていますが、
ステージⅣの5年相対生存率

は **63.4%**。

前立腺がんて亡くなる方は
少なくありません。

(国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」)

早期がんでは排尿症状を
含め ほとんど症状はなく、
進行がんの場合でも 自覚
症状が無いことが少なく
ありません。



50 歳以上の男性は、
横浜市ではがん検診として、
川崎市では特定健診と一緒
に受けることができます。

早期発見の場合、
ロボット手術や放射線治療
など低侵襲な治療により
完治することが可能です。



進行リスクが低い前立腺
がんの場合、治療（手術、
放射線、薬物）を行わずに
経過観察が可能な場合も
あります。

経過
観察



PSA が **4 ng/ml**
以上の場合、
泌尿器科専門医に
ご相談ください。

グレーゾーン (PSA
4~10ng/ml) でも
まれですが 進行がん
の場合があります。



前立腺がんによる
死亡を減らすに
は、かかりつけ医
での PSA 検査/
前立腺がん検診
を受けることが
必要です。



皆さんの明るい未来のために
定期的な「PSA 検診」を習慣にしてみませんか？

